

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	取手市立こども発達センター（児童発達支援事業）
------	-------------------------

公表日 令和7年4月1日

対象者数 令和7年1月10日 198名 回答者数 149名（回答率75%）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	144	4	0	1	・広すぎず、狭すぎず丁度よい。 ・十分だと思う。 ・いつものびのびと活動出来ている。	・法令を遵守した広さを確保しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	123	11	4	11	・あまり把握できていません。 ・トレーニング中に、職員同士の雑談の 声が大きすぎる。 ・もう少し回数ができる、有難い。 ・人数が足りない。 ・少ない、出入りが激しい。定着しな い。 ・2ヶ月先の予約がとれるなど、工夫が あると通いやすい。 ・親の視点からは十分だと感じている。 子供もきつと十分だと思っていると思 う。 ・たくさんの職員の方がいらっしやると 思う。	・法令で必要とされている職員の配置人 数を確保しております。 ・予約については、職員勤務状況等によ るため、今後検討してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	126	13	0	10	・特性に応じた空間（気が散らないな ど）になっていると思う。 ・段差が少なく安心できる。 ・トイレがもう少し明るく清潔な感じだ と嬉しい。	・館内に掲示しているセンターの平面図 や避難経路について周知をしていきま す。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	135	11	0	3	・トイレがおぼけが出そうです。 ・ほこりがたまっている所など、空気が 悪く綺麗とは言えない。 ・受付の年配女性が不親切。 ・全く趣旨の違う回答をしたり、子ども を抱えている時は、とても大変な思いを している。他の職員が手助けしてくれる が、同職員の年配女性は無視。 ・清潔だと感じている。 ・古い建物なので清潔の部分が気にな る。 ・アルコール消毒ができる場所も沢山あ り助かっている。	・年2回の業者による館内清掃を実施し ております。 ・各指導室や廊下等の換気や消毒を看護 師中心に職員が定期的の実施しておりま す。 ・トイレについては、LEDを使用してい ますが、より利用しやすいよう対応を 検討してまいります。
適切 な	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	143	4	1	1	・言語聴覚士の方など足りない。 ・子どもの興味関心に合わせて対応して くれ、とても有難い。 ・個別対応を丁寧にしていただいている と感じている。 ・親だけではなかなか難しい支援をし て下さり、子どもも嬉しそう。	・各支援員に関しては、適宜募集を行 いながら、お子さんの支援にあたって参 ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	137	2	0	9	・個別対応を丁寧にしていただいている と感じている。 ・支援計画等、とても適切に作ってく ださり、有難いが、やはり月1回は少なく 感じる。	・支援プログラムをもとに、事業所では 提供する支援を実施しております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	145	2	0	2	・個別対応を丁寧にしていただいている と感じている。 ・合っていると思う。	・お子さんの特性を踏まえた支援が行え るよう計画書を作成してまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	132	3	0	14	・個別対応を丁寧にしていただいている と感じている。 ・子どもに適した支援計画だと思う。	・お子さんの特性を踏まえた支援が行え るよう計画書を作成してまいります。

支 援 の 提 供	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	144	1	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉が増えているのを実感している。 ・今、ゆっくりトイレの練習に付き合っていたりしている。 ・分かりやすい支援内容で親としてもありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画については、保護者との共通理解を持ちながら支援内容に合った支援をしております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	134	3	0	12	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な活動（幼稚園にはないような）をさせていただいている。 ・支援に沿って楽しく活動させていただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容の見直しが行えるよう職員間で話し合いを実施しながら、プログラムの固定化にならないよう心掛けてまいります。 ・事業所内研修を実施し、外部講師を招き、スーパーバイズを実施していく。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	86	14	17	32	<ul style="list-style-type: none"> ・他の子と会わないように、こちらがしている。 ・ありませんが、特になくても良い。 ・療育のことと言われるのが嫌なので交流していない。 ・プレ幼稚園を利用中。 ・通園後のベストフレンドのみです。 ・併行通園している。 ・子どものやりたいことを中心に楽しく取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通園利用児については、地域の保育所の園庭開放利用や、保育交流を実施させていただきました。 ・保護者の意向を伺ったうえで、保育所への訪問も実施させていただいております。
保 護 者	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	141	3	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・通所時は、説明があったが月1回になって負担額がなくなる等の説明がなかった。 ・上半期分もらっていない。（4～7月） ・説明をしていただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法令を踏まえて、丁寧な説明を今後も実施させていただきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	145	0	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・説明をしていただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの必要な支援について保護者の方に分かりやすく説明し、支援内容のご理解を頂けるよう心掛けてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	6	11	36	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングを行ってほしい。 ・家族等も参加できる研修会などの案内がなかった。 ・これから参加。とてありがたく思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、個別のペアトレと、通園部門のグループペアトレを実施。来年度も継続して実施できるよう検討してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	138	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えても聞こえてないフリをする。 ・歯医者選び方（どう通っていくかなど）に至るまで細かなアドバイスを頂いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通園部門では、連絡帳を活用し、お子さんの日々の様子をお伝えしております。 ・個別支援の際には、都度支援内容についてお話をしながら保護者からの聞き取りも心掛けております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	132	11	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・終了時、成長過程の説明があり、アドバイスをいただき、有難い。 ・いつでも相談させてもらっている。 ・毎レッスン後にフィードバックを下さり現状をシェアしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、相談員および職員と話しやすい環境を設けてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	136	7	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・否定されることが無いので、安心して悩みを相談できる。 ・内容は満足だが、日数がもう少し多いと嬉しい。 ・何を話しても、子どものことも親のことも肯定した上で相談の乗ってくださる。 ・いつも優しく接して下さり、安心感がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、相談員および職員と話しやすい環境を設けてまいります。

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	42	14	23	69	<ul style="list-style-type: none"> ・兄弟向けイベントもあると嬉しい。 ・具体的な対応方法も教えて頂けるので、本当にありがたく親子が通所させてもらっている。 ・保護者同士の交流はないと思う。 ・なるべく交流参加はセンターのみが良い。 ・途中から入ったので、まだ参加していないが、楽しみにしている。兄弟向けのイベントもあったら参加してみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けに勉強会を開催実施させていただきました。 ・兄弟向けのイベントなども今後企画を検討してまいります。
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	113	12	3	22	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な対応方法も教えて頂けるので、本当にありがたく親子で通所させてもらっている。 ・相談の申し入れに対しても、子どもの改めた方が良かった時、素早く対応していただいている。 ・心理検査や医師の方との面談にすぐ繋げて下さり助かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談は随時、相談員を中心に対応しております。職員間でも共有して今後すすめていきます。 ・苦情等を含むご意見については、センター長、児童発達管理責任者が迅速に対応いたします。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	129	5	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、連絡帳にコメントがあって分かりやすい。 ・食事の完食なども書いてあるので、有難い。 ・医療相談のことを知れたので、そこから生活が一気に良い方向へと変わった。 ・いつも漏れなく、先生方間で共有もされていて安心。 ・分かりやすいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への情報の伝達はメールや配布物等にて分かりやすく、また、迅速に伝わるよう工夫しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	59	16	3	61	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、SNS等は不明。プライバシーの問題もあると思うので、不特定多数が閲覧できる、HP・SNSは特になくても良いと思われる。 ・HPやSNSを自分で見たことが無い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の結果については、HPや館内にて随時、閲覧できるように設置しております。 ・活動内容や行事等、フェイスブックに掲載しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	128	1	2	8	<ul style="list-style-type: none"> ・十分だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理は職員間で共通認識を持ち、十分に注意するよう心掛けてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	70	13	4	51	<ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりのようなものをいつも参考にさせていただいている。 ・分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急や感染症の対策について、当センターの看護師を中心に他事業所や保健所等の意見を参考にマニュアルを作成しております。 ・通園では、保護者も含めた避難訓練（引き渡し訓練）を実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	55	11	5	67	<ul style="list-style-type: none"> ・体調が悪く今年は参加できないが、来年は体験できたらと思う。 ・分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通園では、年間消防計画を作成し、地震や火事、不審者対応、自然災害時の対応訓練も含め、毎月実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	97	8	2	32	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に手紙でお知らせをいただいた。 ・できていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も安全の確保を行っただうえで、支援を実施してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	86	9	2	42	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に対応して下さり、安心した。 ・無理なことを言われると夜驚症がでるが、センター利用した日はそういったことが一度も起こっていません。 ・いつもよく様子を見て下さり感謝の気持ちでいっぱい。 ・楽しみにしているし、いつも元気に活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援中のケガについては、看護師にケガの状況を確認するとともに、保護者へも説明を実施。医療受診も勧めております。今後も、迅速な対応を心掛けてまいります。
27	子どもは安心感をもって通所していますか。	131	3	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数の環境の方が本人も楽しい。 ・通所がとても楽しみなようで、いつも元気で通えている。 ・のびのび過ごせていると思う。 ・安心とわくわくで通所している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用しているお子さんが笑顔で通所できるよう、多職種間で情報の共有、支援内容の工夫を心掛けてまいります。 	

満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	127	6	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の通所を楽しみにしている。 ・「やったー」と楽しみにしている。 ・毎月、発達センターに行くときは「やった！！楽しみ！！」と喜んでい る。 ・中の良い友達もできて通所を楽しみにしている。 ・すごく楽しみにしているよう。私も先生方と子どものクラスの子どもたちに会えることを楽しみにしている。 ・楽しみにしているし、いつも元気に活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用しているお子さんが笑顔で通所できるよう、多職種間で情報の共有、支援内容の工夫を心掛けてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	128	5	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・回数が少ない。 ・先生が少ないので、増やして通える回数を増やしてほしい。 ・全体的に少なくなるばかりです。 ・日数が多いとお良い。 ・子どもの言葉を会話の中で引き出して、丁寧に関わってもらいたい。 ・親身に対応してもらっている。 ・大変満足している。いつもありがとうございます。 ・楽しみにしているし、いつも元気に活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用しているお子さんが笑顔で通所できるよう、多職種間で情報の共有、支援内容の工夫を心掛けてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	取手市立こども発達センター（児童発達支援事業）		公表日		令和7年4月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点、その他意見	今後の対応	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	2	・通園利用児が利用できるスペースと支援室を分けてあると良いのではないかと。	・構造化については、より意識して実践していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	5	・支援室が空いている時間も、職員が増えることで、事業の展開ができるのではないかと。 ・おそらく利用希望者はもっといるのではないのでしょうか。	・職員配置については、今後も提供できるように検討していくとともに、各職員の資質向上に努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	9	・専門棟への行き来が分かりづらい。 ・通園児が専門にきた時に困惑する児もいる。 ・トイレが暗い、少ない。 ・見える化には工夫が必要。 ・ロッカーやトイレの配慮に改善が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	5	・刺激量の調整が難しいと感じる。 ・マジックミラー外の空間刺激が入らないようにしてほしい。	・視覚支援など出来る限りのアイデアで対応していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	3	・使える部屋は、支援を行っていることで限られている。 ・まだ詳細な状況把握が出来ていないため、判断できません。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	3		・職員個々の具体的な目標設定と振り返りに取り組んでいきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	1		・個別支援の提供回数や、提供時間の中で保護者からのニーズを勘案し精査する必要性があると考えております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	3	・クラス合同の時などに他クラスの先生の意見が参考になる。	・今後も、定期的な会議等を実施し、職員の意見を把握し、業務改善に努めてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	1		・将来的に第三者機関の外部評価を受けていくことを視野に入れ、業務の改善を目指します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	1		・今後も、定期的にセンターの内部研修を実施したり、法人全体での研修に参加します。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	0		・法人のHPに公表しており、今後も周知に努めてまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	1		・客観的な分析が行えるよう、今後も研修などを通して職員の分析力を高めていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	1		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	2	・まだ自分自身の経験が浅く、アセスメントできるところに至っておりません。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	1		・利用児の発達段階、特性、適応行動の情報が得られるよう今後もアセスメントツールを使用し理解を深めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	2	・一部のみ。 ・個別は個別（個人）になっている気がする。	・プログラムのマンネリ化にならないよう、他職種と話し合う環境を整えていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	・個別なら個別、集団なら集団の利用とはなっていない。	・こども達の状況を確認しながら、支援内容を工夫できるよう検討していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	1		・カンファレンスで出た課題を勘案し、支援内容や役割分担に努めてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	1		・日々のカンファレンスや会議等を通して、他職種と話し合えるよう支援をしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	2		・見直し時期を意識して取り組んでいます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	1		・こどもの状況によっては児発管と担当保育士（支援員）を含め会議に参加することで、より充実した支援の提供につなげる努力をしています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0		・今後も保護者の同意を得た上で、各関係機関とこどもたちの情報共有を実施するなど、連携をさせていただきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	12	2	・地域に児童発達支援センターが設置されていない。	・児童連絡会の中で、地域の事業所と連携を取らせていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11	1	・まだ充分把握できていません。	・保育交流や園庭開放などを実施させていただきます。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	14	1	・まだまだ行き届いておりません。	・引き続き、支援内容やこどもの発達状況について保護者と情報共有し、より充実した支援につなげていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	2		・ペアレントトレーニングに限らず、様々な形で保護者支援を充実させていく必要があると考えています。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	1		・保護者が、運営規程や利用者負担等について、適宜見直せるような発信方法を検討しています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	1		・今後も保護者と面談する機会を設け、意向を確認する時間を設けたり、説明を実施していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	1		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	1		・必要に応じて適宜相談できる体制を強化していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	5	きょうだい同士での交流は不明。	・保護者向けに勉強会を開催実施させていただいています。 ・兄弟向けのイベントなども今後企画を検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	1		・保護者からの相談は随時、相談員を中心に対応しております。職員間でも共有して今後もすすめていきます。 ・苦情等を含むご意見については、センター長、児童発達管理責任者が迅速に対応いたします。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	2		・自己評価の結果については、HPや館内にて随時、閲覧できるように設置しております。 ・活動内容や行事等、フェイスブックに掲載しております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	1		・個人情報の管理は職員間で共通認識を持ち、十分に注意するよう心掛けて参ります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	1		・専門性のある研修実施、スーパーバイズの導入など職員の資質向上を図る事で相談体制の強化を目指します。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	5		・保護者など家族のニーズに配慮しながら、地域との交流を意識した、開かれた事業運営を目指していきます。
非常時	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	2	・マニュアルについて、家族等への周知は不十分。	・職員や保護者への周知を図り、対応の徹底を目指します。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	2		・必要に応じて、地震や火災、水災害、不審者を想定した訓練を行うよう年間計画を作成していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	2		・今後も、看護師を中心に職員間で医療情報を職員と共有し、対応できる体制を整えていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	1		

時 等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	2		・今後も安全の確保を行ったうえで、支援を実施してまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	1		・事故防止のため、月1回、リスクマネジメント会議を実施しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	1		・法人で年2回開催し、事業所内の全職員を対象に今後も行っていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	3		・身体拘束がなされない様な支援方法を職員同士で随時話し合い、支援内容の工夫に努めていきます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	取手市立こども発達センター（児童発達支援事業）		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日	～	令和7年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	198名	(回答者数) 149名
○従業者評価実施期間	令和7年1月5日	～	令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 28名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容のバリエーションが豊かである。	他職種の職員が専門的な視点でプログラムを組み立てている。	チームでの連携を継続し、支援を行う。
2	保護者への支援の充実。	ペアレントトレーニングや保護者交流会などを開催し、就学に向けた情報提供等、保護者へ向けた取り組みを実施している。	定期的な開催を今後も実施していく。
3	職員の資質の向上を図るため、様々な研修を実施。	資質向上のため、内外の研修会や他事業所、地域の保育所や幼稚園へ見学等を実施している。	現場支援に即した内容の研修や施設見学等、今後も継続していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門性の高い個別支援が必要な児童に、適切な支援を提供できない場合がある。	支援内容によっては、人員不足のため、要望に応えきれしていない。（言語聴覚支援など）	支援内容や支援時間など検討していくとともに人材確保に努める。
2	保護者への連絡体制が不十分なところがある。	FacebookやHPがあるが、周知があまり出来ていない。	今後、連絡体制について、ICT化に向けて検討していく必要がある。
3	施設の老朽化、構造等により、児童・家族のニーズに十分にこたえられない場合がある。	老朽化に伴う修繕費等の増加や、構造上の問題によりすべてのニーズに応えられないケースがある。	指定管理者として市と協議し、修繕費の調整や移転等も含めた中長期的な計画が必要となる。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 取手市立こども発達センター（放課後等デイサービス事業）

公表日 令和7年4月1日

対象者数 令和7年1月10日現在 30名

回答者数 19名（回答率63%）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	0	0	0		・法令を遵守した広さを確保しています。限られた広さの中、遊具等の配置を工夫し活動の幅を広げていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	0		・専門性のある人材の確保、育成に努めます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	0	0	0		・随時、施設内外の設備や環境の見直しを行い、適宜バリアフリー化やこども達の活動に合わせた環境整備に努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	1	1		・1人1人の状況を踏まえて、支援内容を検討してまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	1	0	0		・支援プログラムをもとに、事業所では提供する支援を実施しております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	2	0	2		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	2	1	2		・お子さんの特性を踏まえた支援が行えるよう計画書を作成してまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	2	1	1		・支援計画については、保護者との共通理解を持ちながら支援内容にあった支援をしてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	2	0	1		・支援内容の見直しが行えるよう職員間で話し合いを実施しながら、プログラムの固定化にならないように心がけてまいります。
保護者 への 説明等	11 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1	0	0		・法令を踏まえて、丁寧な説明を今後も実施させていただきます。
	12 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1	1	1		・お子さんの必要な支援について保護者の方に分かりやすく説明し、支援内容のご理解をいただけるよう心がけてまいります。
	13 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	4	2	3	・あるのかもしれませんが、知らないです。	・来年度、提供できる機会を検討していきます。
	14 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	2	3	0	・当日やった支援内容説明はあるが、先生と伝えあう時間はないです。	・支援内容についてお話をしながら保護者からの意向についても聞きとりを心がけました、職員と話しやすい環境を設けてまいります。
	15 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	2	6	0		
	16 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	4	2	0		・随時、相談員および職員と話しやすい環境を設けてまいります。
	17 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	2	5	2	・そのような機会は無いが、園や学校、習い事先での情報交換等で満足できている。	・今後、兄弟向けのイベントなども今後企画を検討してまいります。

	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談には随時対応していくと共に、相談体制の周知に努めます。 ・苦情等を含むご意見については、センター長、児童発達管理者が迅速に対応いたします。
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	6	0	1		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への情報の伝達はメールや配布物等にて分かりやすく、また、迅速に伝わるよう工夫しております。
	20	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	3	3	5		<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容や行事等、フェイスブックに掲載しております。
	21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1	0	2		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理は職員間で共通認識を持ち、十分に注意するよう心がけてまいります。
非常時等の対応	22	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	3	2	5	・訓練についてはわからない。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が容易にマニュアル等を確認できるシステム構築を進めてまいります。
	23	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	3	1	9		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な避難訓練を実施してまいります。
	24	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1	1	6		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も安全の確保を行ったうえで、支援を実施してまいります。
	25	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	2	0	9		<ul style="list-style-type: none"> ・支援中のけがについては、けがの状況を確認するとともに速やかに保護者に説明をし、状況により医療受診も勧めております。今後も迅速な対応を心がけてまいります。
満足度	26	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・利用しているお子さんが笑顔で通所できるよう、多職種間で情報の共有、支援内容の工夫を心がけてまいります。
	27	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	3	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	15	3	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	取手市立こども発達センター（放課後等デイサービス事業）		公表日		令和7年4月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点、その他意見	今後の対応	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1		・構造化については、より意識して実践していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	・個別支援、集団支援希望者すべてを受け入れられない状況であった。	・職員配置については、今後も提供できるよう検討していくとともに、各職員の資質向上に努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・わかりやすい表示等、可視化について工夫が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	・教室内の水道がレバー式で使いやすい。 ・床も清潔に保ちやすい。	・視覚支援など出来る限りのアイデアで対応していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0		・職員個々の具体的な目標設定と振り返りを取り組んでいきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		・支援の提供について、保護者からのニーズを精査する必要性があると考えております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		・今後も定期的な会議等を実施し、職員の意見を把握し、業務改善に努めてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		・将来的に第三者機関の外部評価を受けていくことを視野に入れ、業務の改善を目指します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1		・今後も定期的にセンターの内部研修を実施したり、法人全体での研修に参加します。
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		・法人のHPに公表し、周知に努めてまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0		・客観的な分析が行えるよう、今後も研修などを通して職員の分析力を高めていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・毎回カンファレンスを欠かさず行い、職員間の共通理解を図っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		・利用児の発達段階、特性、適応行動の情報が得られるよう今後もアセスメントツールを使用し理解を深めます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		・プログラムのマンネリ化にならないよう、多職種と話し合う環境を整えていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		・こどもたちの状況を確認しながら、支援内容を工夫できるよう検討していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・前回の活動から、留意すべきポイントを押さえ、役割分担をして支援を行っている。	・カンファレンスで出た課題を勘案し、支援内容や役割分担に努めてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・毎回必ず行い、子ども小さな変化を見逃さないようにしている。	・日々のカンファレンスや会議等を通して、多職種と話し合えるよう支援をしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		・見直し時期を意識して取り組んでいきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	0		・今後も支援内容について、職員間で工夫して実施してまいります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		・こどもの状況によって児発管や支援員を含め話し合いに参加し、より充実した支援の提供に努めてまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		・今後も保護者の同意を得たうえで、各関係機関と連携させていただきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2	・あまりそのようなことを行う事業を展開していないため。	・必要に応じ、学校との情報共有を実施していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		・今後も保護者の同意を得たうえで、各関係機関と連携させていただきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	・放デイはそのような機会がない。	・今後、児童連絡会の中で、地域の事業所と連携を取らせていただきます。
	32	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		・児童部会に参加させていただいております。今後も各機関と連携を取らせていただきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		・引き続き、支援内容やこどもの発達状況について保護者と情報共有し、より充実した支援につなげていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0		・様々な形で保護者支援を充実させていく必要があると考えています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		・保護者が運営規定や利用者負担等について、適宜見直せるような発信方法を検討していきます。
	36	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		・今後も保護者と面談する機会を設け、意向を確認する時間を設けたり、説明を実施していきます。
	37	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		

保護者への説明等	38	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		・必要に応じて適宜相談できる体制を強化していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3	・放デイ利用保護者に対し不十分。	・保護者向けの勉強会や兄弟向けのイベントなど今後企画を検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		・苦情等を含むご意見については、センター長、児童発達管理責任者が迅速に対応いたします。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	3		・活動内容や行事等、フェイスブック等に掲載しております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		・個人情報の管理は職員間で共通認識を持ち、十分に注意するよう心がけてまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		・専門性のある研修実施、スーパーバイズの導入など職員の資質向上を図ることで相談体制の強化を目指します。
非常時等の対応	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	3	・家族への周知は不十分。	・職員や保護者への周知を図り、対応の徹底を目指します。
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		・必要に応じて年間計画を作成してまいります。
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・放デイは給食の提供なし。	・今後も、看護師を中心に職員間で医療情報を共有し、対応できる体制を整えていきます。
	47	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		・今後も安全の確保を行ったうえで、支援を実施してまいります。
	49	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2		
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		・今後も、事故防止のため、再発防止策等検討してまいります。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		・法人で、年2回開催し、事業所の全職員を対象に研修を実施してまいります。
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		・身体拘束がなされないような支援方法を職員同士で随時話し合い、支援内容の工夫に努めていきます。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	取手市立こども発達センター（放課後等デイサービス事業）		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日	～	令和7年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和7年1月5日	～	令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士、児童指導員など他職種が連携をとって支援を行っている。	専門分野の視点から様々な意見を出し合い、活動内容から組み立てて支援を行っている。	今後も他職種連携を続け、よりより支援につながるよう取り組む。
2	利用している全利用児が、児童発達支援から継続していることで、とぎれることなく適切な支援ができる。	小学校への進学時など、大きく環境が変わる場合でも、その子にあった支援が出来、変化にも対応できる。	小学校で学ぶことを生かしたプログラムづくりを組んでいく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時対応マニュアルはあるが、周知が出来ていない。	周知不足である。	掲示場所の工夫やご家族への周知を徹底していく。
2	放課後等デイサービスでの避難訓練が出来ていない。	取手市立こども発達センターとしては行っているが、放課後等デイサービスの時間帯で行えていなかった。	年に1回程度実施する。
3			